

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（コンクリート構造物）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、施工打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね継手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視記録した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は、状況に応じてd又はe評価とする。）
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d評価 -12.5点)
		※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d評価とする。
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)
		※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e評価とする。

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（コンクリート構造物）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠損、粗骨材の露出がない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋コンクリートの場合は、鉄筋に達するひび割れがない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（切土工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊を防止するために必要であると判断した場合に、自主的に表面排水（トレンチ等）を実施した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地山に勾配（4割より急）がある部分では、盛土を行う前に段切りを行って滑動を防止した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	軟弱な粘性土の場合に、こね返しによる強度低下を回避するために掘削面以下を乱さないように注意して施工した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締固めは、含水比を計測しながら、又はプルフローリングで確認しながら施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	芝や種子が雨水で流出しないように固定した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物周辺の締固めは、構造物に偏土圧をかけないように、薄層で左右均等に行った。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土羽土には、現場の良質土を選んで用いた。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土質試験に基づいて品質管理を行っていた。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面にゆがみや水平方向の亀裂がみられない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伐間除根が十分で、盛土部に草木などの腐食物を巻き込んでいない。
0	0	
●判定基準		
加減点（#DIV/0!） = 15.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。（d評価 -12.5点）
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。（e評価 -25点）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（切土工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	規定された勾配が確保されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	切土法面に浮き石や根株などが残っていない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	切土と盛土の接続部では、すり付け切土（勾配1：4）を行い、支持力の急変を防いでいる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	完成後の通常の雨によって法面が損傷することを防止するための簡易な処理（局所的なブルーシート養生等）がなされている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物へのすりつけがスムーズである。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水や滲出水による法面浸食がみられない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	残土及び伐木の処理が適正である。
0	0	
●判定基準		
加減点（#DIV/0!） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（土工事（盛土・築堤工事））

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨水による崩壊を防止するために必要であると判断した場合に、自主的に表面排水（トレンチ等）を実施した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地山に勾配（4割より急）がある部分では、盛土を行う前に段切りを行って滑動を防止した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	軟弱な粘性土の場合に、こね返しによる強度低下を回避するために掘削面以下を乱さないように注意して施工した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締固めは、含水比を計測しながら、又はプルフローリングで確認しながら施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	芝や種子が雨水で流出しないように固定した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物周辺の締固めは、構造物に偏土圧をかけないように、薄層で左右均等に行った。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土羽土には、現場の良質土を選んで用いた。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土質試験に基づいて品質管理を行っていた。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面にゆがみや水平方向の亀裂がみられない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伐開除根が十分で、盛土部に草木などの腐食物を巻き込んでいない。
0	0	
●判定基準		
加減点（#DIV/0!） = 15.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。（d評価 -12.5点）
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。（e評価 -25点）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（土工事（盛土・築堤工事））

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	締固めが良好で沈下が終息している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	勾配変化点の処理がスムーズである。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	将来の沈下を見越した天端の上げ越し高が適正である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物へのすりつけがスムーズである。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面のふくれ、亀裂、浸出水がない。
0	0	
●判定基準		
加減点（#DIV/0!） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（護岸・根固・水制工事（港湾工事以外））

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸い出しが無いよう行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じて d 又は e 評価とする）
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
		※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d 評価とする。
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)
		※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（護岸・根固・水制工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブロックが整積みの場合は空隙がない。乱積みの場合は空隙が均一である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	天端及び端部の仕上げが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設構造物とのすりつけがよい。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水衝部を有効に保護している。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（舗装工事）

●ばらつきの程度（品質を最も代表する管理値で判定する。）

- 1 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。
- 2 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%以下である。
- 3 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える。
- 4 ばらつきで判断不可能

●評価対象項目（配点は、「スロープ状配点でない工種の配点方式」の加算点表①による。）

対 該

象 当

【路床・路盤工関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 |

【アスファルト舗装工関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | プラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 舗装後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 |

【コンクリート舗装工関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 舗装工の施工に先だて、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | レディミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | レディミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 |

0 0

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。（d評価 -12.5点）
 - 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。（e評価 -25点）
- ※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「Ⅱ品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。

加算点表①

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上～75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（64.3%）＝該当項目数（9）／評価対象項目数（14）

※ ランク b

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（舗装工事）

対 該 象 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 表面の骨材の空隙が均一で密実である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 端部処理が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 乳剤や合材による周辺の汚れがない。
0	0

●判定基準
 加減点（ #DIV/0! ） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質 (法面工事)

●ばらつきの程度 (品質を最も代表する管理値で判定する。)

- 1 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。
- 2 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%以下である。
- 3 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える。
- 4 ばらつきで判断不可能

●評価対象項目 (配点は、「スロープ状配点でない工種の配点方式」の加算点表①による。)

対 該

象 当

【共通】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工, コンクリート又はモルタル吹付工関係)

施工に際して, 品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。

盛土の施工にあたり, 法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。

路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。

雨水による崩壊が起こらないように, 排水対策を実施していることが確認できる。

【種子吹付工, 客土吹付工, 植生基材吹付工関係】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。

ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。

ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。

吹付け厚さが均等であることが確認できる。

使用する材料の種類, 品質, 配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。

【コンクリート又はモルタル吹付工関係】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

使用する材料の種類, 品質, 配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

金網の重ね幅が所定であることが確認できる。

金網が破損を生じていないことが確認できる。

吸水性の吹付け面において, 事前に給水させてから施工していることが確認できる。

吹付け厚さが均等であることが確認できる。

吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。

レディミクストコンクリートの使用にあたって, ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。

不良個所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。

法肩の吹付けにあたり, 地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。

【現場打法枠工関係 (プレキャスト法枠工含む)】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

使用する材料の種類, 品質, 配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

アンカーを設計書どおりの長さで施工していることが確認できる。

現場養生が, 設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。

レディミクストコンクリートの使用にあたって, ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。

枠内に空隙が無いことが確認できる。

層間にははく離が無いことが確認できる。

不良個所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。

0 0

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。(d評価 -12.5点)

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

※「進行性又は有害なクラックがある」場合, 無処理にしていたため, e 評価とする。

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「Ⅱ品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。

加算点表①

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を越える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上～75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（64.3%）＝該当項目数（9）／評価対象項目数（14）

※ ランク b

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（舗装工事）

対 該 象 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	地山形状に無理なく密着している。
<input type="checkbox"/>	植生、吹付等の形状が均一である。
<input type="checkbox"/>	端部処理が良い
<input type="checkbox"/>	植生工の場合は発芽が均一である。モルタル吹付の場合は厚みが均一である。構造物の場合は補修を要するひび割れがない。
0	0
●判定基準	
加減点（ #DIV/0! ） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）	

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「Ⅱ品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。

加算点表①

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を越える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上～75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（64.3%）＝該当項目数（9）／評価対象項目数（14）

※ ランク b

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（基礎工事（地盤改良等を含む））

対 該 象 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	地盤支持力が均一である。
<input type="checkbox"/>	埋戻土の締固め度が良い。
<input type="checkbox"/>	端部及び天端の仕上げが良い。
<input type="checkbox"/>	不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
0 0	※不可視部分は全域を撮影しなければならない。動画でもよい。
●判定基準	
加減点	（ #DIV/0! ） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（海岸工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディミキストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディミキストコンクリートの受入検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートブロックの据付にあたり、損傷や緩みがないように施工している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎部分の洗堀が生じないように、捨石を堅固に均している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	養生浜を決定するにあたり、現地地の砂の密度及び粒度分布を計測し、養生浜が域外へ流出しないようにしている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自然石を利用して海岸環境の景観を改善している。

0 0

●判定基準
 加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
 ※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d 評価とする。

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)
 ※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（海岸工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠損、粗骨材の露出がない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋コンクリートの場合は、鉄筋に達するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。

0 0

●判定基準
 加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質 (コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象))

対 該
象 当

【評価対象項目】

- コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
- レディーミクストコンクリートの受入れ検査 (スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか) を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
- レディミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
- 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以内であった。そしてこれを示す記録が残っている。
- ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
- 断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、施工打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
- 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視検査した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。
- 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね接手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。
- コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。
- ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
- プレキャスト桁のプレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
- PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- コンクリートの圧縮強度の確認を、コンクリート標準示方書に基づいて行った。
- 進行性又は有害なクラックが無い。

(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする。)

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
(d評価 -12.5点)
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d 評価とする。
- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ (コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象))

対 該
象 当 【評価対象項目】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 欠損、粗骨材の露出がない。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 支承部の天端に水溜りができないように、水勾配をつけている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。 |

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（塗装工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	下地処理を入念に実施していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各塗装工程の工程間隔時間が適切に確保されていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。(d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（塗装工事（工場塗装を除く））

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗装の均一性が良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	細部まできめ細かな施工がされている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補修を要する箇所がなかった。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	下地処理が良好である。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	色むらが見られない。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（トンネル工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートの配合及びロックールの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網の継ぎ目を所定の幅で重ね合わせて施工したことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の暑さが所定の厚さで地山と密着するよう施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロックールの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防水工に防水シートを仕様する場合は、ロックール等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上で施工していないことが確認できる。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（トンネル工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠損、粗骨材の露出がない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの沈下に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの水和熱に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの収縮に起因するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋コンクリートの場合は、鉄筋に達するひび割れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	打継ぎ目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（植栽工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	活着が促されるよう管理していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（植栽工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹木の活着状況が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	強風に対する備えが十分である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	樹種の取り合わせ、配置のバランスがよい。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（防護柵（網）工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱，視線誘導標設置基準，道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の床掘りの仕上がり面において，地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の基礎工の施工にあたって，無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の支柱の施工にあたって，既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵の支柱の根入長が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルを支柱に取付ける場合，設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合，打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（防護柵（網）工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法線の出入りが目立たない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	端部処理が良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	部材表面に傷及び錆がない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設構造物等とのすりつけが良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	きめ細やかに施工されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎の根入れが十分である。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質 (標識工事)

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱, 視線誘導標設置基準, 道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の床掘りの仕上がり面において, 地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の基礎工の施工にあたって, 無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵等の支柱の施工にあたって, 既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して, 施工していることが確認できる。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督職員が文書で指示を行い改善された。(d評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ (標識工事)

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設の標識や信号機との干渉を回避して設置している。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識板の支柱に変色が無い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支柱基礎が入念に埋め戻されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	標識板の文字のバランスや色がよい。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の審査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（区画線工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	防護柵設置要綱，視線誘導標設置基準，道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ペイント式（常温式）区画線に使用する溶剤の使用量が，所定の濃度であった。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の施工にあたって，設置路面の水分，泥，砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線を消去の場合，表示材（塗料）のみの除去となっており，路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プライマーの施工にあたって，路面に均等に塗布していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画線の材料が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
0	0	
		●判定基準
		加減点（#DIV/0!） = 15.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督職員が文書で指示を行い改善された。（d評価 -12.5点）
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査職員が修補指示を行った。（e評価 -25点）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（区画線工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塗料の塗布が均一である。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	視認性が良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	接着状態が良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工前の清掃が入念に実施されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現地に合わせて，車両の動線が滑らかになるように作図されている。
0	0	
		●判定基準
		加減点（#DIV/0!） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（電線共同溝工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（電線共同溝工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	共同構内への浸水がない。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（維持工事（清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理等））

対 象	該 当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適時・的確に行っていることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監督職員の指示事項に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（維持工事（清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理等））

対 象	該 当	【評価対象項目】
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小構造物等にも注意が払われている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされている。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設構造物とのすりつけが良い。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補修前より強度や耐久性が向上している。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（修繕工事（橋脚補強・耐震補強・落橋防止等））

対 象	該 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適時・的確に行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	監督職員の指示事項に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（修繕工事（橋脚補強・耐震補強・落橋防止等））

対 象	該 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小構造物等にも注意が払われている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	きめ細かな施工がなされている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既設構造物とのすりつけが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補修前より強度や耐久性が向上している。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（機械設備工事）

対 該

象 当 【評価対象項目】

- 機材の品質が、承諾図書により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
- 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
- 機材の品質管理記録の内容が、適切であることが確認できる。
- 衛生工事について、品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
- 空調工事について、品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
- 衛生工事について、施工の品質が設計図書を満足していることが確認できる。
- 空調工事について、施工の品質が設計図書を満足していることが確認できる。
- 耐震施工について、施工の品質が設計図書を満足していることが確認できる。
- 他許可業種の施工について、施工の品質が、設計図書を満足していることが確認できる。
- 施工の品質が、試験や検査等の結果の確認により、優れていることが確認できる。
- システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。
- システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。
- 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
- 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。
- パルプ類の平時の状態表示又は計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。
- 機器の配置について、点検・交換作業を容易にできるよう工夫している。
- 回転部や高音部等の危険個所に表示又は防護をしている。また、操作制御設備の安全装置等が承諾図書のとおり機能している。
- 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品並びに箇所を明示している。
- 設備の取扱説明書を維持管理に配慮して工夫している。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。(d 評価 -12.5点)

品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（機械設備工事）

対 該

象 当 【評価対象項目】

- 端部や貫通部分の処理等について、きめ細やかな施工がなされている。
- 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
- 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。
- 施設の長寿命化又は維持管理を軽減するために有効な対策を検討し、監督員に提案した。
- 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（港湾築造工事（浚渫、海岸築造工事を含む））

●ばらつきの程度（品質を最も代表する管理値で判定する。）

- 1 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。
- 2 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%以下である。
- 3 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える。
- 4 ばらつきで判断不可能

●評価対象項目（配点は、「スロープ状配点でない工種の配点方式」の加算点表②による。）

対 該
象 当

【共通】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確保に必要な試験等が行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 一般船に十分注意して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 |

【浚渫・床掘関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土量に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。（大型船による施工で、作業日数短縮等も含む） |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 |

【地盤改良関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションパイルが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 |

【マット、捨石及び均し関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工されていることが記録により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工されていることが記録により確認できる。 |

【本体：杭及び矢板、控工関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鋼材の保管にあたり、変形及び被覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 腹起し材を全長にわたり既定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 |

【本体：ケーソン据付、ブロック据付関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソンの回航又はえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、これを静穏な時期に行うよう、工程の調整を行った。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソンの回航又はえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。 |

【コンクリート関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1 m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね継手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視記録した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は、状況に応じて d 又は e 評価とする。） |

0 0

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d 評価とする。
(d 評価 -12.5点)
- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
(e 評価 -25点)
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「II品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。

加算点表②

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を越える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	80%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	70%以上～80%未満	b	b'	c	c
	70%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（64.3%）＝該当項目数（9）／評価対象項目数（14）

※ ランク b

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（港湾浚渫工事（地盤改良工事を含む））

対 該

象 当

【評価対象項目】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

0 0

- 完成後の堤体の沈下を予測して、上げ越しの施工をしている。
- 不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
- 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。
- きめ細やかな施工がなされている。
- 景観に配慮すべき部分に自然石を利用している。
- 打継目が一体化しており、この部分の補修の必要がない。

●判定基準

加減点（ #DIV/0! ） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（港湾築造工事（浚渫、海岸築造工事を含む））

●ばらつきの程度（品質を最も代表する管理値で判定する。）

- 1 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。
- 2 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%以下である。
- 3 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える。
- 4 ばらつきで判断不可能

●評価対象項目（配点は、「スロープ状配点でない工種の配点方式」の加算点表②による。）

対 該
象 当

【共通】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確保に必要な試験等が行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 |

【浚渫・床掘関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土量に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。（大型船による施工で、作業日数短縮等も含む） |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 |

【地盤改良関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | サンドドレーン・砕石ドレーン・サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションパイルが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 |

【マット、捨石及び均し関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工されていることが記録により確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工されていることが記録により確認できる。 |

【本体：杭及び矢板、控工関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 鋼材の保管にあたり、変形及び被覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 腹起し材を全長にわたり既定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 |

【本体：ケーソン据付、ブロック据付関係】

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソンの回航又はえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、これを静穏な時期に行うよう、工程の調整を行った。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソンの回航又はえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 中詰において海上漏出がないよう施工されていることが確認できる。 |

【コンクリート関係】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1m以下であった。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね継手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋を圧接する場合は、外観を全数目視記録した。エポキシ樹脂塗装鉄筋の場合は再塗装が十分であることも検査した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、コンクリートの保湿、断熱又は保温に効果のある特別の養生を自発的に行った。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は、状況に応じてd又はe評価とする。）

0 0

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、d 評価とする。
(d 評価 -12.5点)
- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
(e 評価 -25点)
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「II品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合、C評価とする。

加算点表②

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	80%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	70%以上～80%未満	b	b'	c	c
	70%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（64.3%）＝該当項目数（9）／評価対象項目数（14）

※ ランクb

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（港湾浚渫工事（地盤改良工事を含む））

対 象 当	該 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不可視部分の全部の写真及び主要な部分の出来形の記録が保存されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	着工前と完成の出来形を容易に比較できる図面等を作成している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	浚渫及び盛り等土砂が適切に処理されている。
0	0	
●判定基準		
加減点（#DIV/0!）＝ 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（建築工事）

対 該
象 当

【評価対象項目】

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。
- 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。
- 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。
- 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。
- 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。
- 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。
- 躯体工事における施工の品質が、施工記録により確認でき、良好であることが確認できる。
- 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
- その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。
- 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。
- 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。（d評価 -12.5点）
- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。（e評価 -25点）

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（建築工事）

対 該
象 当

【評価対象項目】

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。
- 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。
- 使い勝手や使用者の安全、構築物の保全に対する配慮に優れている。
- 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。
- 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。
- 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（管水路工事）

●ばらつきの程度（品質を最も代表する管理値で判定する。）

- 1 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。
- 2 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%以下である。
- 3 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える。
- 4 ばらつきで判断不可能

●評価対象項目（配点は、「スロープ状配点でない工種の配点方式」の加算点表①による。）

対 該

象 当

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	要求される材料・部品の品質が確保されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	要求される製品の性能が確保されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用される材料・部品・製品等が、納入から施工されるまで適切に保管されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	埋戻しの層毎に厚さ・幅、及び締固めが適切であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管の埋設深、中心線の通り及び埋設位置が適切であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	弁類、機器等の設置位置並びに施工が適切であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管接合面の適切な処理がなされ、接合（ジョイント間隔等）も適切な施工であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	付帯施設（スラストブロックなど）が適切に施工されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの配合決定にあたっては、施工条件や気象条件に応じて、単位水量ができるだけ少なくなるように、生コン工場の技術者と協議して決定した。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの受入れ検査（スランプ、空気量、単位水量、塩化物イオン量、圧縮強度ほか）を受注者の責任のもとに実施し、その結果を監督員に報告した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	レディーミクストコンクリートの使用にあたって、ひび割れ防止及び耐久性向上に効果がある特注品を使用した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工条件や気象条件に応じた運搬時間、打重ね時間間隔が制限内で、打設時の落下高が1mいかであった。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひび割れ防止及び耐久性向上のために、型枠の取り外し時期を可能な限り遅らせた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	打ち継ぎ面では、レイタンス、品質の悪いコンクリート、緩んだ骨材粒を取り除き、表面を粗にし、十分に吸水させた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	断面変化部の打設では、沈下ひび割れを防止するため、施工打設の沈下を待って後続の打設を行った。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート打設までに鉄筋にさび、どろ、油等の有害物が付着しないよう管理していることを確認できる記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄筋のかぶり、曲げ加工の半径、重ね継手の長さ、緊結の状況、位置等が仕様を満足していた。そしてこれを示す記録が残っている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリートの養生方法が施工条件や気象条件に適合していた。さらにマスコンクリートの場合は躯体内と表面の温度差を計測した。寒中コンクリートの場合は気温を計測した。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通水試験が適切に実施され、試験結果が整理されていることが確認できる。

0 0

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
(d 評価 -12.5点)
- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)
※「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていたため、e 評価とする。

スロープ状配点でない工種の配点方法

適用

この配点方法は、「3出来形及び出来ばえ」の「Ⅱ品質」の評定において、スロープ状配点方式に移行していない従来の工種について適用する。

計算方法

「考査対象項目」のうち、評価対象外の項目を削除する。

削除項目がある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した下記の評価値で評価する。

評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）

削除後の評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。

加算点表①

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を越える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上～90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上～75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

加算点

ランク	a	a'	b	b'	c
加算点	15.0	12.0	7.5	4.0	0.0

※ 品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%以下である。

※ 評価値（85.7%）＝該当項目数（6）／評価対象項目数（7）

※ ランク b

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（管水路工事）

対 該 象 当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 管路の配置が適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 給水栓（引込管）と現地形とのなじみが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 既設構造物等との取付けが適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 弁類、機器類の取付状況が適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物の仕上がり面が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 舗装復旧部の平坦性が良く、既設舗装面との段差がない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 弁類、機器類の埋設面が適切である。
0	0

●判定基準
加減点（ #DIV/0! ） = 5.00点 × 該当項目数（ 0 ） ÷ 対象項目数（ 0 ）

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質（下水道工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管渠（管布設・推進）工において、出来形管理基準を満足しており、屈曲や沈下がない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管口仕上げ及びインパートの表面仕上げが良好である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人孔及びマスの天端は、周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりがよい。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支管取付の施工が適切に行われていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取付管が適正に施工（接合・配管状況を含む）されていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管路内に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	掘削時の土留めや推進時の掘進による、周辺地盤への影響が見られない。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d 評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e 評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅲ. 出来ばえ（下水道工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	管口の端部処理が良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	マンホール・ます等と既設路面の取り合いが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	インパートの仕上げが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	マンホール・ます等の目地仕上げが良い。
0	0	
●判定基準		
加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)		

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質（コンクリート二次製品工事）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	製品の品質が、品質規格証明書で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目地施工において付着よく適切に施工されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コンクリート二次製品を損傷無く設置していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	裏込め材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	材料のかみ合わせ又は連結が、裏込め材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (d評価 -12.5点)
<input type="checkbox"/>		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

III. 出来ばえ（コンクリート二次製品）

対象	該当	【評価対象項目】
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物の通りが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目地の仕上げが良く、クラック、破損等が無い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	断面の変化点の施工方法が適切で、強度、見栄えともに配慮がなされている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	他の構造物とのすりつけが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	端部、天端仕上げが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	製品の連結、かみ合わせが良い。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	細部まできめ細かな施工が行われている。
0	0	
		●判定基準
		加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

工事成績採点の考査項目別運用表 検査員

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質 (橋梁修繕工事(断面補修・ひび割れ注入等))

対 該
象 当

【評価対象項目】

- 使用材料の品質が証明書等で確認できる。
- 劣化したコンクリートの除去が適切に行われていることが確認できる。
- 断面修復は、断面が大きい箇所は適切に重ね塗りが行われ、施工後に浮き等がないことが確認できる。
- 使用材料の品質等が適切であり、現場において材料確認を行っている。
- 鉄筋の錆落とし、防錆剤の塗布作業が入念に施工されていることが確認できる。
- 炭素繊維シートの施工に先立ち、プライマー及び不陸整正を行っていることが確認できる。
- 炭素繊維シートの付着力試験を行っていることが確認できる。
- 施工時の天候・気温・湿度等の測定を行い、施工していることが確認できる。
- プライマー及び含浸、接着剤の塗布量確認ができ、現場において使用材料の確認を行っている。
- 炭素繊維シートの引張り試験を行い確認している。
- ひび割れ幅、ひび割れ部の挙動、季節等に応じて材料選定を行っている。
- ひび割れ補修に伴い研磨等の下地処理を行っている。
- ひび割れ幅等に応じて、注入位置を決定し、適切な間隔で注入器を設置している。
- ひび割れ表面をシール剤で閉塞し、注入にあたって注入剤の漏れ、ダレがない。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 15.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。(d評価 -12.5点)

- 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。(e評価 -25点)

3. 出来形及び出来ばえ

III. 出来ばえ (コンクリート二次製品)

対 該
象 当

【評価対象項目】

- 補修箇所表面に凸凹が無く滑らかに仕上がっている。
- 端部、天端仕上げが良い。
- クラックがない。
- 既設構造物への擦り付けが良い。
- 剥がれがなく接着状況が良い。
- 施工時の清掃が念入りに実施されている。
- 細部まできめ細かな施工が行われている。

0 0

●判定基準

加減点 (#DIV/0!) = 5.00点 × 該当項目数 (0) ÷ 対象項目数 (0)